



順造選

順造の旅

お伝えしたいこといっぱい…の気持ちをこめて。

5月初めに手術して、目覚めたときはもうろく、生きて蘇るとはこんな気分かとウツラウツラ思っていました。ハッキリ目が覚めてみると、鼻、尿道、足の先までいろんな管が差し込まれていて、自由に動けないのにびっくり。大阪弁で「えらいこっちゃなあ！？」と何回もつぶやく、つぶやく。すると左肩に激痛が…。痛いので看護師さんに訴えると、多分手術中、長時間不自然な姿勢でいたので痛い痛み止めの塗り薬かサロバンパスのようなものを持って来てくださるのかと思うが何も来ない…！

「それ位我慢しなさいということか？病院とはえらい所やなあ！？」と商売だと、こんなことやってたら、お客様は来なくなり、倒産や…！」とつぶやく、つぶやく。そんな日々の後、5日程して次々と身体に差し込まれていたものが無くなつたときの壮快感はなんともなんとも…。でも痛くて身体を横にできず苦しいものですね。12日間の入院で病院の外に出たときは監獄から出たときの気分（入つたことはありませんが）…！」空に向かつて両手を上げ、開放感に浸りきる。「病院の中に居ると病気になりそう！」とつぶやく。

書く人はないかもしれません、みんな我慢しているか、諦めているのいくじのない弱音、泣き言を書いてみました。身体を上から下までハッカが入ったスーとするようなタオルでふいてくれた人々を想い起こしてしました。そこには患者の苦痛を少しでも和らげようとする気配りがありました。という医療が求められているのでは、身体全体を治すのではなく、入院中、どうか？夢ですかね。

順造選ショップ
2017年7月号 vol.59
無料配信（郵送）をご希望の方は
0120-103-712
FAX.06-6443-2025
<http://www.junzosen.com/>
〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目18-5

七月のお便り



ルビンシュタインが弾くショパンのピアノの音色は文句なく素晴らしいのですが、CD10枚が2540円（AMAZON）というのも驚きです。中でも私はワルツとマズルカが好きですね。



「山月庵茶会記」

講談社文庫 葉室 麟

本便り



私は時代小説が大好きで毎月10冊位は読んでいますが、この本ほど気持ちは読んでいますが、この本ほど気持ちは読める時代小説は珍しい。妻自害の真相を追いかけていく舞台を茶室に置くことにより、茶室の持つ独特の静けさ、季節の風景などを織り交ぜ、なんとも言えない気持ち良さと引き締まつた空気を醸し出しているのかもしれない。



アメリカ・アリゾナ州のフェニックスへ久し振りに行つきました。もともとインディアンが住んでいた砂漠地帯を白人開拓者が町を造つていった所だと思ひますので、砂漠的な気候です。日中は暑く、夜は寒い位です。泊まったホテルはCAMELBACK INNというコテージ風の宿で、広大な土地にサボテンを植え、如何にも砂漠の中のホテルイメージを出しています。アメリカはその土地の特徴を表し生かしたホテル、街作りをしていくのが素晴らしいのです。赤茶かけた岩山と、いか丘が多く、独特的な光景が見えてる

中央のダントンはどんな風に変わつているのだろうと行つてみますと、やはり思った通り、大きな建物は並んでいます。人が通りは少なく、さびれた街に変貌している。



開拓時代を想う景色 フェニックスへの旅

順造さんの旅日記



アメリカにはその再生力があるのが強みです。日本の地方はさびれ、すたれ落ちていくと街は死にたえ、再生の力はありません。何故だろう？と考えてきますと、農耕民族の日本と騎馬民族DNAを持つアメリカとの違いではないかと

旅は観光でなく思ひ至ります。でも、学びながら考え、楽しめるので、私は大好きです。

四十代初め頃でしょか、人間を信じられなくなつたことがあります。その頃、創った言葉がこれです。
「期待せずして、期待せよ」「頼らずして、頼れ」
この歳になつても、これらの言葉を想起し、間違つてないなあと思います。禅問答のようだといわれたことがあります。人間不信のどん底から這い上がり、明るい天上を見た人には、分かるのではないかと思います。私にとって大事な大切な言葉でした。

よく「どんなワインを選べば良いですか」「どんなワインが美味しいですか」と尋ねられます。答えるには難しい質問ですね。私は最近「高いワインほど美味しいですよ」と答えるのです。これは誤解される答えかもしれません、漠然とした質問には答えるのが難しいのですよ。

「1000円位で美味しいワイン」というのであれば1000円以下のワインの中で美味しいお求めできるワインは沢山あります。もっと良い尋ね方は「1000円位のフルーティーで余りヘビーでないワイン」とか

「ヘビーで辛口ではなくて、ソフトでちょっと甘口のワイン」という具合に

自分の好みを具体的に言われますと、

その好みに合った美味しい良いワインを選ぶことができます。

それは5000円、5万円、10万円のワインでも同じです。だから質問されるときは

◎値段

◎ヘビーかソフトな味か

◎味はちょっと甘くてフルーティーか等を含めて言いますと、的確なワインを選ぶことができますので、ご参考にしてください。

時代の流れとしては

◎ヘビーから軽くてソフトな味に移ってきています。料理も同じですね。

ワイン選びも失敗を重ねて身に付いてくるような気がします。

分からぬときは信頼できる店か人に自分の好みと値段を言って選んでもらうのがベストですね。



